

長期ステロイド使用後の顔症状を経て母子で治療した成人小児アトピーの経過 (27 歳女性)

症例 ID：001-20-IMg | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

幼少期から皮膚が乾燥し、小学校頃から症状が出るたびステロイド外用薬を使用しました。高校期には化粧品のように頻繁に塗る時期がありました。結婚式を控えた時期に顔症状が悪化し、ステロイドを再使用したところ赤みが強くなり、松本医院を受診されました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	幼少期から高校期までステロイド外用薬を断続的に使用し、結婚前の顔症状にも使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	物心がつく前から結婚前まで断続的に使用しました。
中止時期	結婚式約3か月前の松本医院受診時に中止しました。
来院前／後	来院前に長期使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
幼少期～高校期	来院前	乾燥や湿疹に対して外用薬を断続的に使用しました。
結婚前	来院前悪化	顔の赤みが化粧で隠せないほど強くなりました。
結婚式3か月前	治療開始	松本医院を受診し、漢方風呂、煎じ薬、外用薬による治療を始めました。
治療開始後2か月	リバウンド期	これまでにない強い症状が出ましたが、その後は見た目でアトピーと分からない程度まで変化しました。
結婚式時	生活変化	皮膚状態が落ち着き、予定通り結婚式を迎えました。
出産後	母子治療	母親の症状はほとんどなくなり、乳児の頬と膝裏の症状も治療開始約2か月で赤みが少し残る程度になりました。

4. ピーク時期

ピークは、結婚前に顔の赤みが化粧で隠せないほど強くなり、治療開始後にさらに強い症状が出た時期です。

5. 困りごと

- 結婚式を控えた時期に顔症状が悪化し、心理的な負担がありました。
- 渡米後も家族から薬を送ってもらいながら治療を続ける必要がありました。

6. 経過のまとめ

治療開始後に強い症状を経ましたが、結婚式までには見た目でアトピーと分からない程度になりました。

出産後、母親はほとんど症状なく過ごし、乳児の顔と膝裏の症状も治療開始約2か月で赤みが少し残る程度になりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。